

大阪・関西万博開催に向けた意見

御所属 関西広域連合委員 和歌山県知事 御名前 仁坂 吉伸 様

1. 2025年の大阪・関西万博に何を期待しますか。

(是非すべきこと、また、するべきではないこと、後世に残すべきもの等)

2025年の大阪・関西万博は、関西、日本再浮上のチャンス。

観光客の増大、地域経済の発展に繋がることを大いに期待するもの。

その効果を最大限のものとするには、以下のような視点に基づいた取組が重要。

- ①一過性でなく、何度も関西を訪れたいような「おもてなし」の視点
- ②関西が有する歴史・文化・自然につなげる「広域周遊観光」の視点
- ③関西への「新たな投資を呼び込む」視点

様々な取組を展開するには、関西の各府県市、住民、企業等が、それぞれの持つ力を生かし、積極的に協力する必要がある。

おもてなし

- ・みんなで、外国人、高齢者、障がい者などをサポート。また、最先端技術によるバリアフリー化
- ・無形世界遺産である「和食」を世界へ発信する場として活用（各地域の食材を活用）。健康寿命に繋がるエビデンスの提示
- ・最先端技術による防災対策が施され、もし大規模災害が発生しても安全である（犠牲者なし）よう準備

広域周遊観光

- ・万博会場と世界遺産などの周辺観光地を組み合わせた旅行商品を開発
- ・万博と体験プログラムを組み合わせた教育旅行の誘致
- ・万博会場と周辺観光地を周遊するクルーズ船の運航
- ・観光地への最適ルートや周遊プランをAIが提案するチケットセンターの設置
- ・万博入場チケットに関西全域で鉄道・バス等の周遊パスを付帯
- ・MICE誘致

新たな投資を呼び込む

- ・関西の利点を国内外にアピール
 - ①東アジアを中心とした我が国のゲートウェイ機能
 - ②職住楽のエリアが近接し、暮らしやすい地域
 - ③ライフサイエンス分野をはじめ様々な分野で多くのビジネスチャンスが存在

後世に残すべきレガシー

- ・最先端技術の実証による新たな産業の育成
- ・最先端技術の体験や世界の人々と交流することにより、次世代の研究開発を支える子どもたちを育成
- ・会場のバリアフリーを徹底し、ノーマライゼーションの精神

2. 大阪・関西万博で見せるべきコンテンツは何でしょうか。

(例：最先端技術の実証、SDGs 達成への貢献、ライフサイエンス分野との連携等)

本万博は、新しい価値観や社会・経済システムを共創する「未来社会の実験場」と位置づけられており、最先端技術が次々と生まれてくる中、自分達の歴史・文化と最先端技術を組み合わせ、会場全体が未来社会を体験（実験）できる場であるとともに、環境への配慮が重要。

バーチャル体験

- ・ 5G を活用し、会場と関西の観光地を繋ぎ、祭り、自然、世界遺産などをバーチャル体験
- ・ 小型衛星と会場を繋ぎ、映像によるバーチャル宇宙体験（ロケット打ち上げを射場で見学）
- ・ 3D ホログラムと VR メガネなどを活用し、未来のオフィスを体験
- ・ 各地の伝統工芸品を展示し、制作をロボットなどで再現（紀州漆器、紀州筆筒等）

環境への配慮

- ・ 廃棄物を出さない博覧会
- ・ 水素発電と再生可能エネルギーを組み合わせた CO2 フリーの電力供給
- ・ 環境にやさしい技術の展示（メタンガス発電プラント、パイル生地を利用した排水処理技術）

3. 会場計画及びインフラ整備について、新たなアイデアや御意見を申し上げます。

(例：会場のデザイン、水面や緑地の利活用、待ち時間のない万博とするための手法、災害対策、暑さ対策等)

すべての来場者がバリアフリーはもちろん、ストレスフリーで会場内を移動できること。また、周辺地域のインフラ整備を加速することで、関西全体で広くおもてなしができる。

スーパーシティ

- ・ 顔認証や指紋認証などによるハンズフリー、キャッシュレス
- ・ 高齢者や障がい者も利用可能な自動運転
- ・ 入場タグなどウェアラブル端末のセンサーと 5G を活用した来場者の体調管理
- ・ AI とロボットによる、個人の嗜好や健康状態に応じた食事の提供
- ・ AI を活用し、その場その時に応じた待ち時間のない万博を提供

インフラ整備

- ・ 万博までに高規格幹線道路（近畿自動車道紀勢線、京奈和自動車道、新名神高速道路など）の整備を完成させ、万博会場を起点とする広域的な観光周遊ルートを造成
- ・ 夢洲と関西空港、マリーナシティ、白浜などを結ぶ海上輸送
- ・ ホテルシップを会場及び和歌山下津港など大型客船の係留できる港に停泊

4. そのほか、御自由に御意見を申し上げます。

関西経済への貢献

- ・ 建築工事、資材等を地元企業から優先調達
- ・ 国産材（紀州材等）を使用した木造建築の推奨
- ・ 各地方空港で連携したチャーター便の誘致